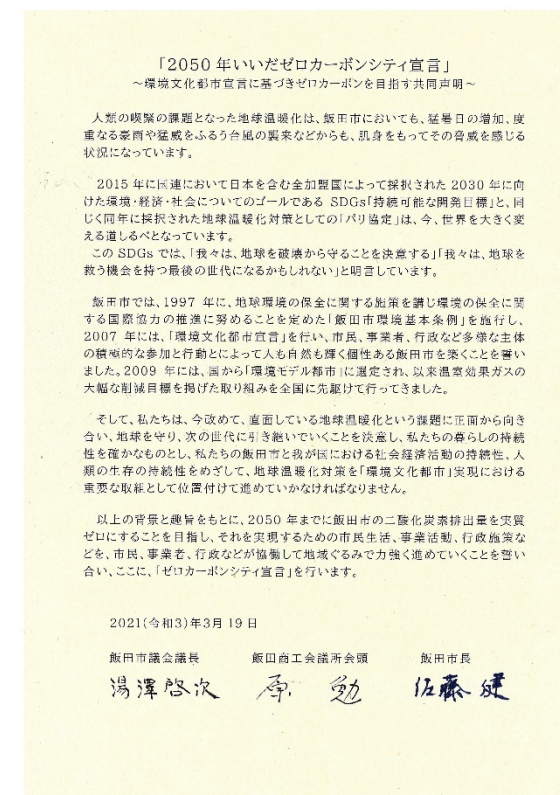


2050いいだゼロカーボンシティ宣言

～環境文化都市宣言に基づきゼロカーボンを目指す共同声明～

飯田市は、令和3年3月19日にゼロカーボンシティ宣言を行い、**2050年**までに、飯田市域におけるCO₂排出量を**実質ゼロ**にすることを目指すこととしています。

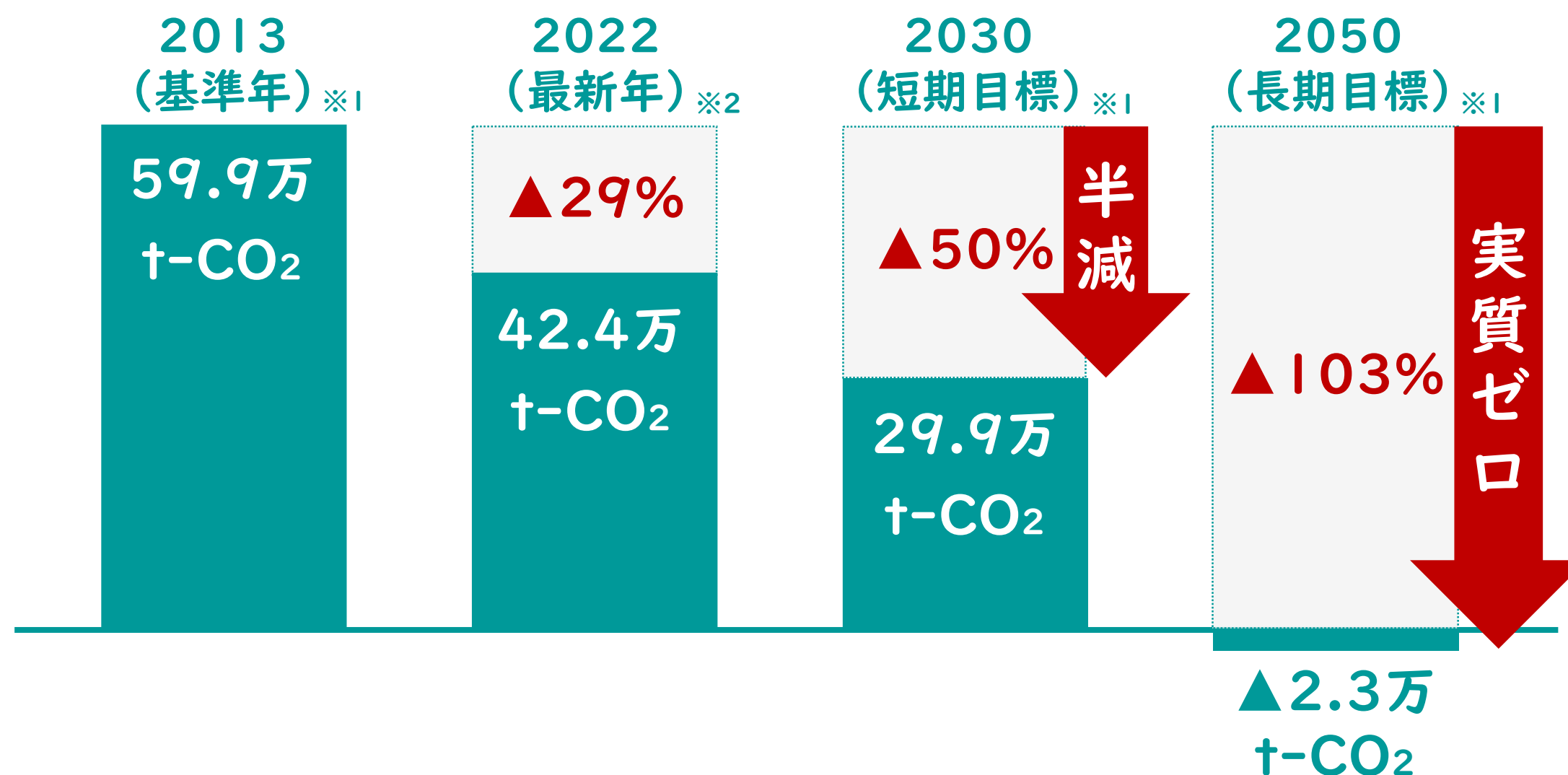
ゼロカーボンシティを実現するための
市民生活、事業活動、行政施策などを、
市民、事業者、行政などが協働して
地域ぐるみで力強く進めていくことを、
市民の代表である飯田市議会、
事業者の代表である飯田商工会議所
との3者共同で誓い合いました。



宣言書

飯田市域でのCO₂排出量削減目標

飯田市域のCO₂排出量から森林吸収量を差し引いた
正味排出量を実質ゼロ以下にする計画です。



※1 2050年いいだゼロカーボンシティ推進計画 ※2 飯田市調べ

環境に関する市民意識 ※

気候変動の影響を
心配している市民の割合 **90.7%**

目指す都市像
"環境文化都市"の認知度 **60.7%**

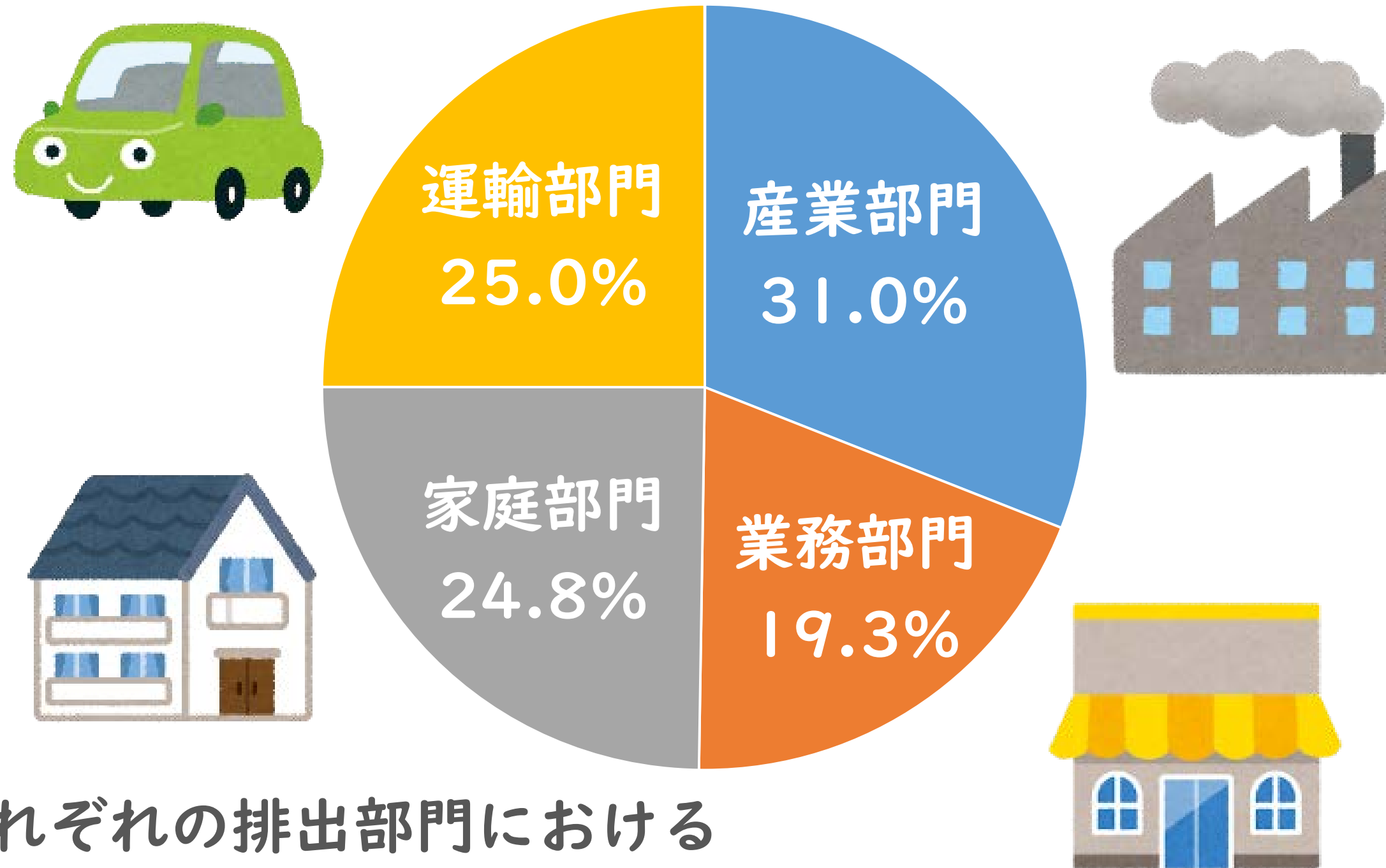
"2050いいだゼロカーボンシティ宣言"
の認知度 **27.7%**

省エネ・節電を心掛けている
市民の割合 **88.9%**

ゼロカーボンシティ実現のために**全市民で取り組む**必要があります。

※ 令和6年度環境に関する市民アンケートから

飯田市域の令和4年度排出部門別CO₂排出量割合 ※



それぞれの排出部門における
着実な取組が必要です。

※ 飯田市調べ

ゼロカーボンシティ実現に向けて

へらす

つかう

かえる

吸収する

つくる

学び・実践

の取組を展開しています

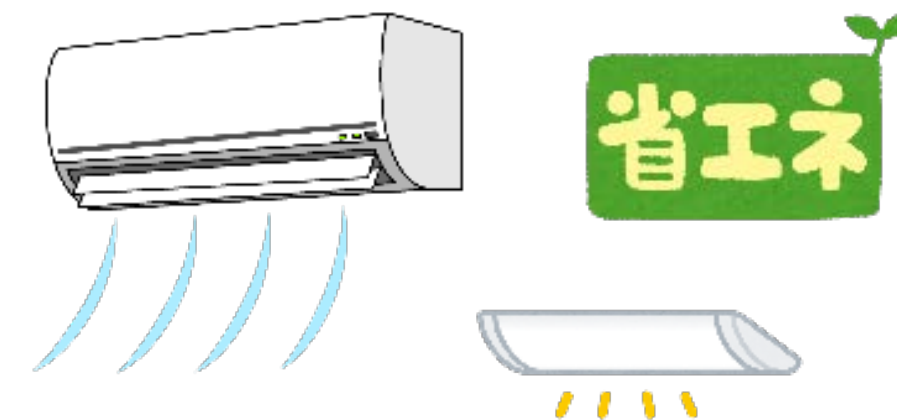
へらす

省エネルギーの加速的推進

2023年度、事業活動に係るエネルギーコストの削減、CO₂排出削減を目的に、中小企業を中心とする事業者が行う設備更新、再エネ導入を支援する「エネルギーコスト削減促進事業」を実施しました。

支援件数：**59**件

CO₂削減効果※：**137.6**t-CO₂/年



※ 導入予定設備の削減電力量、発電量等に基づき独自に算出

かえる

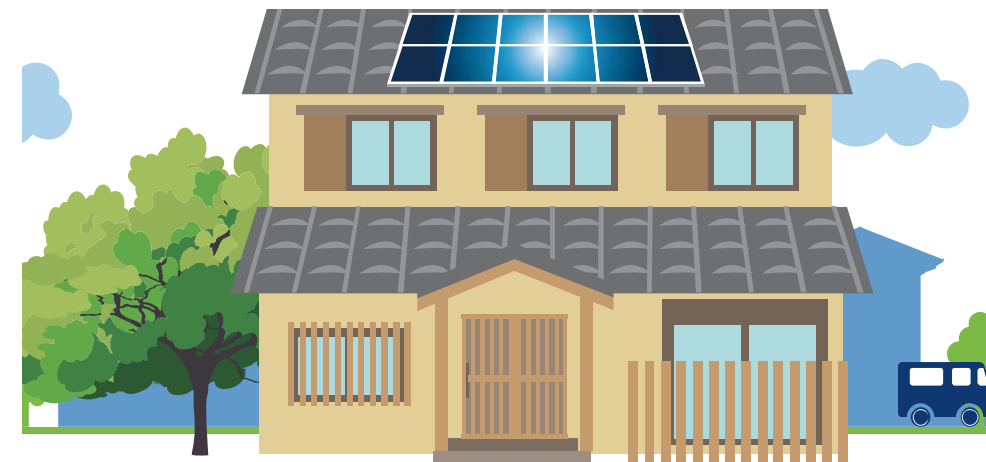
持続可能な生活様式への転換

飯田版ZEH仕様とは、国が進めるエネルギー消費実質ゼロ住宅の基準であるZEH（ネットゼロエネルギーハウス）を参考に、地域の特色を評価に盛り込んだ、健康で快適な住宅の仕様です。

2022年度に「飯田版ZEH普及促進事業」を創設し、飯田版ZEHが普及し始めています。

補助実績の累計

15件（2025年3月現在）



つくる

地域産再生可能エネルギーの創出

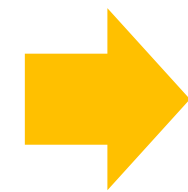
1997年から太陽光発電設備設置への補助を実施しており、着実に普及してきています。

市の補助制度活用による

太陽光発電設備の普及率※

2005年度末

2.9%



2024年度末

17.1%



※ 補助件数÷戸建て住宅数（住宅土地統計調査より）

つかう

地域産再生可能エネルギーの活用

市内の地域新電力である飯田まちづくり電力株式会社との間で「地域のエネルギーに関する包括連携協定」を締結し、地域産エネルギーの地域内消費の取組みなどを実施しています。

飯田まちづくり電力から供給される電力に占める
飯田下伊那地域産の再生可能エネルギーの割合 ※

2019年度

24.1%



2023年度

35.9%

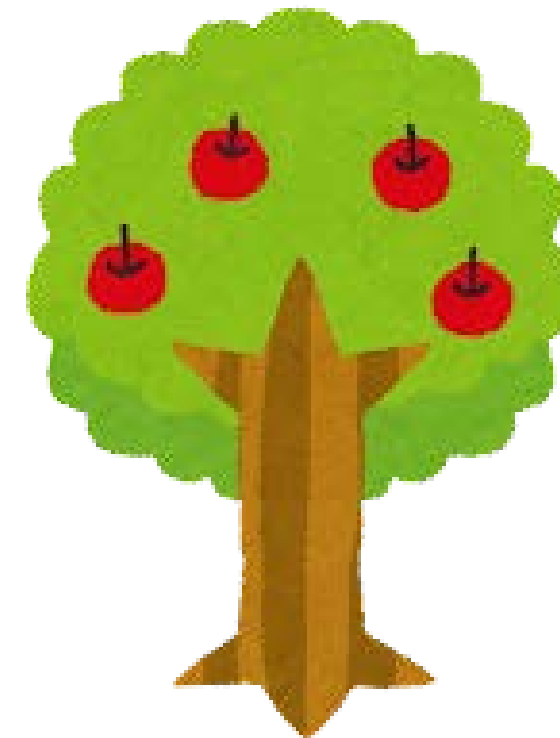
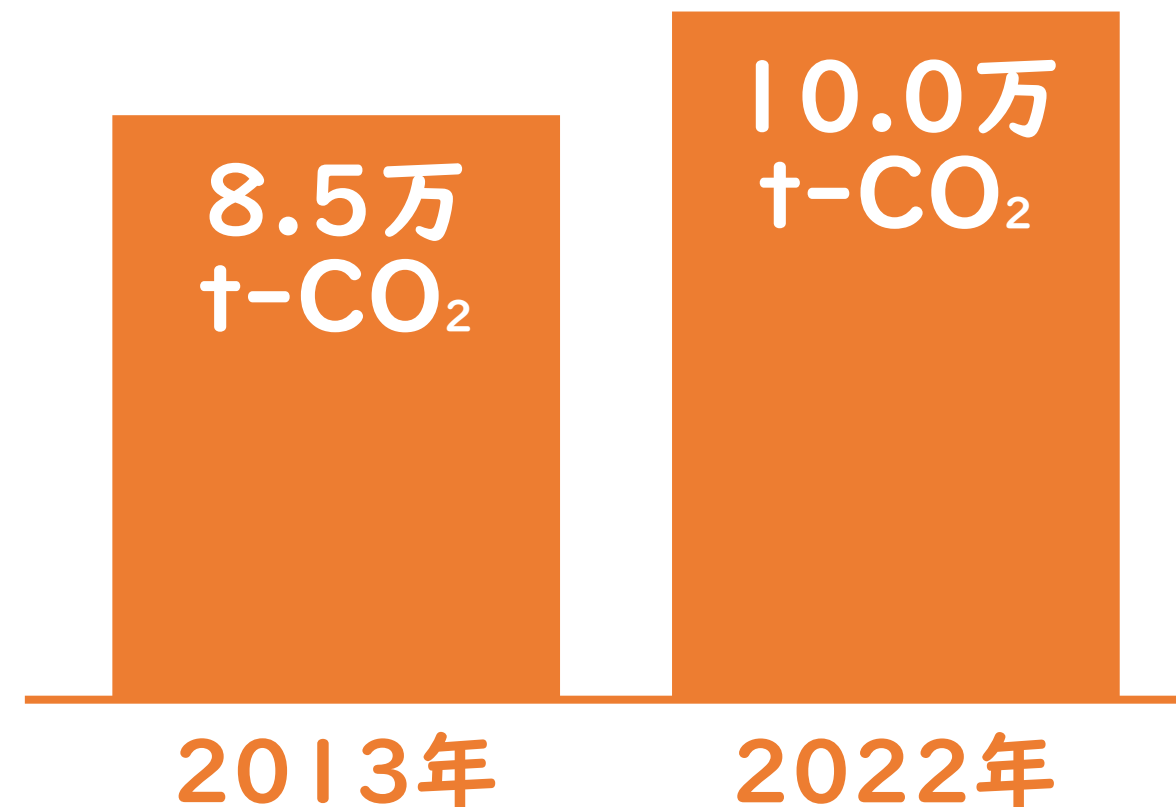
※ 飯田まちづくり電力株式会社からの報告による

吸収する

森林整備による吸収源の確保

飯田市域の8割以上を占める森林の整備を行い、
CO₂吸収源を着実に積み上げていきます。

森林整備によるCO₂吸収量 ※



※ 間伐面積×吸収係数の積上げ

学び・実践

環境問題を知り、学び、実践する

2022年に、環境文化都市づくりプラットフォーム
「うごくる。」を設立し、脱炭素やSDGsを学ぶ機会
や、環境問題などについて自由に語り合う機会を作る
とともに、自主的・主体的な取組みを支援しています。

行動する未来はすごい、
うごくる。

環境文化都市づくりプラットフォーム

うごくとステキな未来が**くる。**



ゼロカーボンシティ実現のために
一緒に取り組みましょう。

何から
始める？



飯田市ウェブサイト
ゼロカーボンシティ推進課ページ

Instagramでも
情報発信中

いいだゼロカーボン



@iida.zero_carbon

